

経営比較分析表（令和6年度決算）

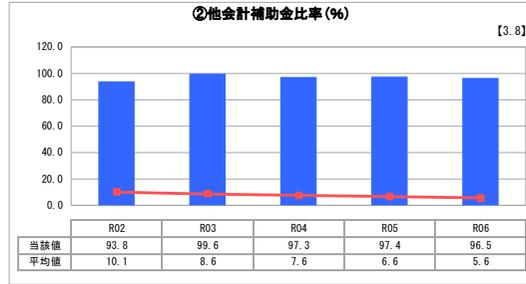
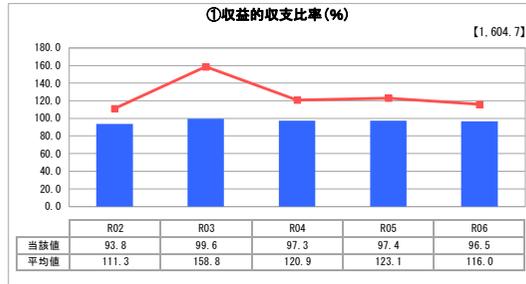
大阪府摂津市 フォルテ摂津自動車駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場 屈出駐車場	地下式	31	

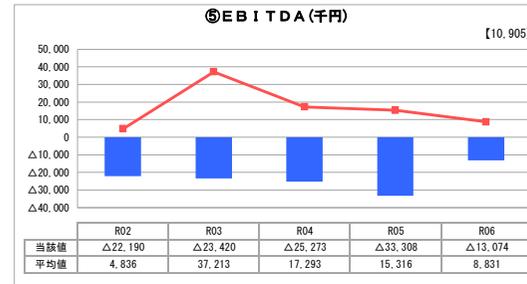
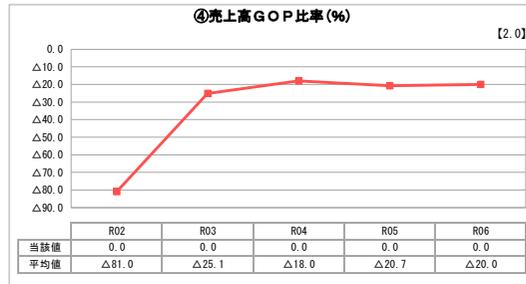
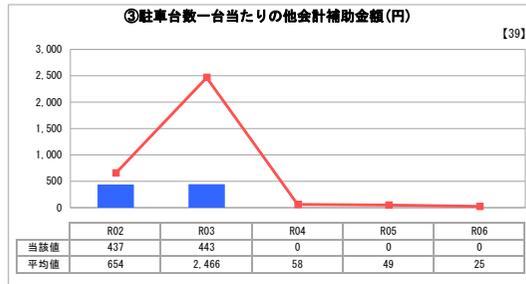
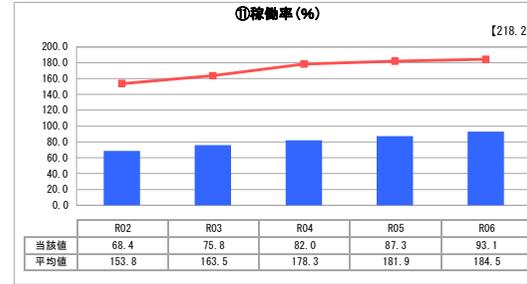
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	2,072
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
189	200	利用料金制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 収益等の状況



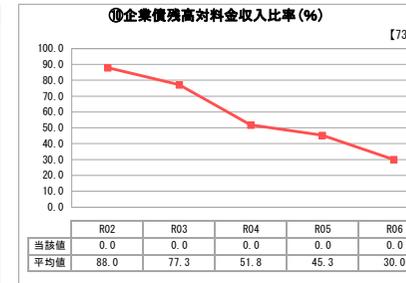
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)	0
⑧設備投資見込額(千円)	0



分析欄

1. 収益等の状況について
 平成25年度に地方債の償還を終えたことから、平成26年度以降の収益的収支比率は100%となった。令和元年度以降は利用料金制の導入により100%を満たさなくなったため、経営改善に向けた取組が必要である。また、駐車台数一台当たりの他会計補助金額におけるR5年度の当該値グラフでは0円となっているが、精査した結果、本来の値は179円である。

2. 資産等の状況について
 平成25年度に地方債の償還を終えたことから、平成26年度以降の企業債残高対料金収入比率は0となっている。

3. 利用の状況について
 過去4か年と比較して稼働率は上昇したが、類似施設平均値を大きく下回る稼働値となっている。要因の一つに、地下式駐車場の構造が挙げられる。当該駐車場は平面式と機械式に分かれており、機械式駐車場は建築当初の規格のままとなっている。そのため、近年の大型化した車両は駐車することが出来ず、近隣の民間駐車場の需要が高くなっている。機械式駐車場の改良工事は多額の費用がかかることから、この要因解消は難しいと考える。

全体総括
 他会計からの繰入金への依存度が高い。類似施設と比べて駐車場収入の赤字を補填している状況が続いている。今後は、管理費の見直しを図るといった経営改善の取組を進めていく必要がある。

経営比較分析表（令和6年度決算）

大阪府摂津市 南摂津第1自動車駐車場

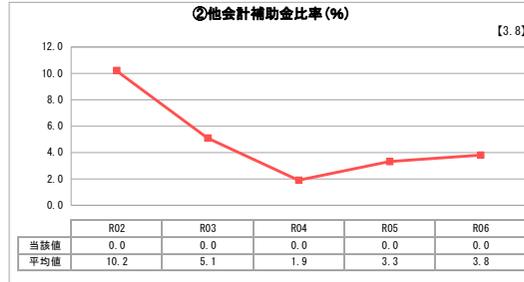
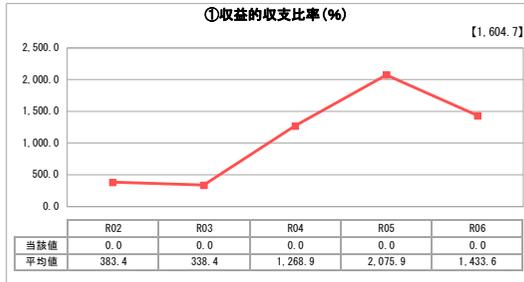
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	26	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	3,372
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
127	200	利用料金制

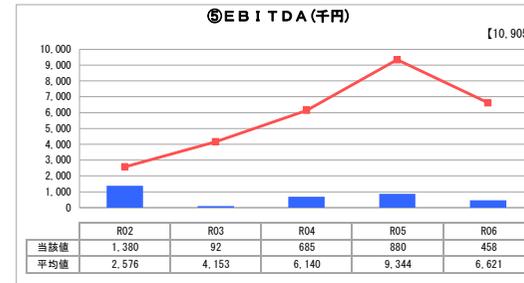
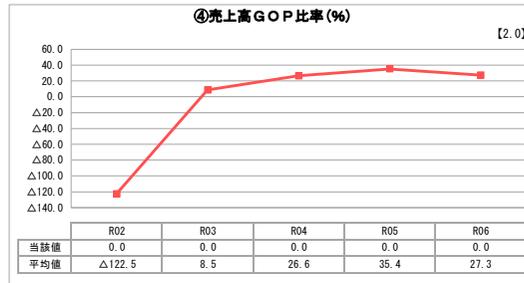
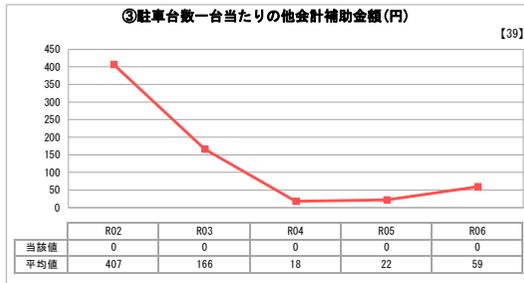
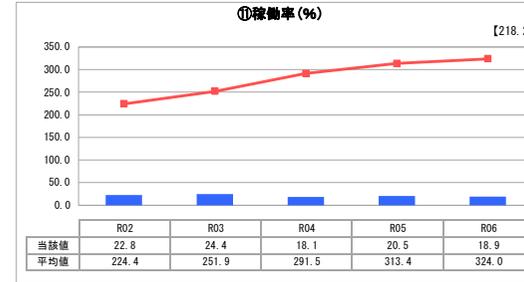
グラフ凡例

- 当該施設値(当該値)
- 類似施設平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

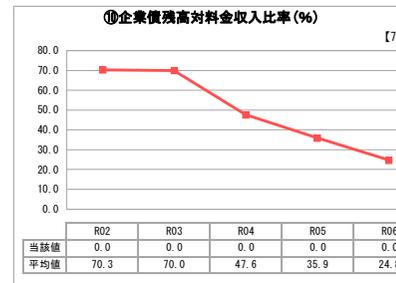


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について
令和元年度から利用料金制へ変更し、運営費等は指定管理者でまかなえるようになった。

2. 資産等の状況について
高架下の平面施設であるため、駐車場施設に対する今後の投資は予定していない。

3. 利用の状況について
稼働率が類似施設平均値を下回っているのは、構造上、高架下のため車両の出入口が隣接しているのが原因の一つと考える。

全体総括
令和元年度から指定管理者の利用料金制となり、運営費等は指定管理者でまかなえるようになった。稼働率は類似施設平均値を大きく下回ることから、今後は定期利用者の増加に向けた施策に取り組み、経営改善を図る。